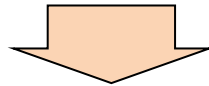


子育てのワンポイント

「自分の思う通りにならないと、物を投げたり、奇声を発するので、困ってしまいます。」(1歳児)

自己主張の表れなので、心配する必要はありません。

喃語を話すようになる乳児なら、声を出すのが楽しかったり、興奮して奇声をあげることもあります。それが1歳ごろになると、自分でいろいろできるようになり、自己主張が強くなって、欲求が激しくなります。でも、上手に言葉にできないため、イライラして奇声を発したり、物を投げたりしてしまうのです。



子どもの気持ちを言葉にしてあげましょう。

奇声を発したときは「そんな大きい声を出しちゃダメ！」とただ怒るだけでは、子どもは余計エスカレートしてしまいます。「もし言葉が言えたら、何て言うだろうな？」と、子どもの思いをつかんで、「まだ遊びたいの?」「これ欲しかったの?」などと、その子が本当に伝えたい気持ちを言葉にしましょう。大人と通じ合える喜びを感じとることで、やがて子どもは会話の楽しさを知ることにつながっていきます。自分で思ったこと、訴えたかったことなどを言葉で言えるようになると、奇声を発したり、ものを投げるといった行動は減っていきます。

「0歳児から5歳児 行動の意味とその対応」 今井和子著

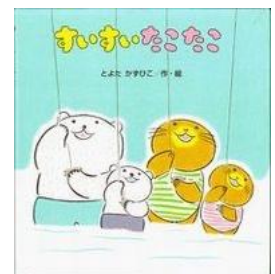
今月の絵本

あけて おめでとう

中川ひろたか/作・村上康成/絵 童心社

すいすいたたこ

とよたかずひこ/作・絵 鈴木出版



今月のうた

＜雪のペンキ屋さん＞
ゆきのペンキやさんは
おそらから ちらちら
おやねも かきねも
ごぼんも みんな
まっしろく まっしろく
そめにくる

今月のわらべうた

おもやのもちつき
いんきよのもちつき
いっつついて
にとついて
てにつき あしにつき
いや ぽーんぽん



2月の予定

- 3日(木) 豆まき(予定)
- 10日(木) 子育て学習会
「離乳食学習」
- 18日(金) 園庭開放

子育て学習会「0.1.2歳児の発達」未定

予約はそれぞれ一ヶ月前から受け付けています。

変更になる場合がありますので、詳細は電話などで確認してください。